第 27 回　日本体外循環技術医学会北海道地方大会報告

9 月 11 日に市立札幌病院臨床工学科の前中則武大会長主催による第 27 回日本体外循環技術医学会北海道地方大会が開催されました。今回の北海道地方大会は地方会初の試みとなる現地＋Web ライブ配信のハイブリッド開催を掲げ、前中大会長および市立札幌病院スタッフ・事務局（写真１）の皆様に数ヶ月に渡る準備を進めて頂きまして、当日の参加人数は現地参加 44 名、Web 参加 58 名の計 102 名となりました。（写真２）

・写真１

・写真２

一般演題では道内養成校の学生からの初めての演題もあり、若手主体の発表となり、これからの北海道の体外循環に期待が持てるセッションでした。（写真3/4/5）

・写真３　・写真４　・写真５

特別講演①は鹿児島市立病院救命救急センターの蘇生医である鹿野恒先生（写真6）をお招きし、先生が自身で作成された感動の治療動画を交えながら ECPR の次なるステージへの講演をして頂きまして、特別講演②は市立札幌病院心臓血管外科の中村雅則先生（写真7）より大動脈弁形成術のイロハを解剖学的所見と現在までのデータをご提示して頂き、今後の大動脈弁形成術の可能性をご教授して頂きました。

・写真６　・写真７

昼食の時間帯には学生向けのセッションを設けて「これから人工心肺を志す学生へのメッセージ」を若手パーフュジョニストからの発信と前中大会長からの経験談を交え、体外循環に興味を持つ若手に向けた指南性のある講演となりました。（写真 8）

・写真８

最後に道内６施設による人工心肺での各施設の「こだわり」をテーマとしてシンポジウムを行いました。コロナ渦でみんなと話し足りなかった鬱憤をここで晴らすかの様に時間一杯まで演者と参加者が意見を交換し合うセッションとなりました。（写真 9/10）やはり、対面になると活気が違いますね。笑

・写真９

・写真 10

手作りのアットホームな運営でしたが、初のハイブリッド開催ということで多少の音声トラブルがあったにせよ、リーズナブル且つ久々の対面で各施設の皆様に再会できた喜びを噛みしめられ、正に大会長が掲げたテーマ『Regeneration』に相応しい大成功の大会だったと感じられました。コロナ第 7 波の最中にも関わらず運営に携わって頂いたスタッフの方々、また会を盛り上げて頂いた参加者の皆様には心より感謝申し上げます。来年の北海道地方会では今年よりも更なる大勢の道産子と再会できることを楽しみにしています。

JaSECT 広報委員　市立釧路総合病院　原田智昭